

・配付の方法

主な理事者の説明

議案第1号

○パートナースhip制度導入検討経費
 予算の主な内訳は、制度内容など導入について検討する検討委員会等開催経費や、企業における性的少数者への理解促進を図るためのアドバイザー派遣事業に係る経費、企業向け啓発パンフレットの作成等啓発にかかる経費である。

パートナースhip制度導入にあたっては、性の多様性に対する市民理解のさらなる促進を図るため、これまでの取組に加え、市のホームページの充実を図るとともに、性の多様性に関する啓発に努めてまいりたいと考えている。

○地域で見守り支える福祉拠点推進経費

福祉拠点では、困りごとを抱えていても自ら相談することが困難な方の発見や、民生委員や町会関係者等が気軽に立ち寄り、福祉拠点職員との情報交換や相談を日常的に行うための工夫を求めるとして、相談者をはじめ、多くの関係者に利用いただくためのPRや様々な機会を通じての働きかけなど、総合的な対応が重要だと考えている。

応募される法人においては、市が規定する職員の資格要件に該当する者を配置する必要があるが、法人内での配置転換や新規採用などを制限するものではなく、必要資格を満たし、必要な人員数が確保されていれば、問題は無いものと考えている。また、研修については、事業者選定後から福祉拠点開

設までに、市が主催する制度別研修や実務研修のほか、開設後には、国、道が主催する主任相談支援員等の職種別養成研修を受講していただくことなどを予定している。

議案第73号

○函館市子育てサポート商品券発行事業費

本事業は令和3年3月1日において本市に住民登録がある世帯主で、平成14年4月2日から令和3年4月1日までに生まれ、本市に住民登録がある子どもを養育する方のほか、市内の児童養護施設等の入所児童を保護している方やDVからの避難に伴う子を監護している方に、子ども一人あたり2万円分の商品券を配付しようとするものである。

商品券の配付は、市が住民基本台帳で確認できる世帯主の方については、4月上旬に案内文書を送付し、受取辞退の申し出期間を一定期間設けたうえで、受け取りの辞退者を除き、4月下旬に商品券を簡易書留で送付する予定である。また、令和3年3月2日から同年4月1日までに生まれた新生児のいる世帯主の方や、児童養護施設等に入所している児童を保護している施設の管理者などについては、別途申請が必要になるが、市政はこだてや市のホームページで広く周知を図り、一定の申請期間を設け、順次、簡易書留で送付する予定である。

委員間の協議

議案第1号

○パートナースhip制度導入検討経費
 差別や偏見のない社会を目指す、生きづらさを抱えている人々の解消を図

りたいということと理解した。市として一歩踏み出したと実感しているため、推移をしっかりと見守りたい。

○地域で見守り支える福祉拠点推進経費

気軽に立ち寄れるための工夫や、人材確保や研修体制の課題について確認できた。それらについて候補となる事業者と検討しながら進めるということなので、後押ししていきたい。

議案第73号

○函館市子育てサポート商品券発行事業費

新型コロナウイルスによる経済の影響もだいぶ長引いているので、スムーズに配付してもらいたい。などの理由で、賛成。

3/2~3/3

代表質問

代表質問は、新年度の予算を審議する議会において、会派の代表が、市長の市政執行方針および教育長の教育行政執行方針について、その所信を質すものです。

3人以上で構成する、4つの会派すべてが代表質問を行い、その主なものを要約して掲載しています。詳細は5月下旬までにホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

令和3年度の予算編成について

市政クラブ 金澤 浩幸

質問 特に重要視した点は、どこか。

答弁 新型コロナウイルス対策を最優先としながらも「市民一人ひとりの幸せづくり」を特に重視し、新たな福祉拠点づくりや子育て家庭への支援の充実等に重点を置いた。また、地域経済の活性化につながるよう各種施策に予算配分した。

子育て支援の取組

民主・市民ネット 小山 直子

質問 子どもを産み育てやすい環境づくりについて、子育て支援の重点的な取組を伺いたい。

答弁 学童保育の負担軽減や入学準備金支給対象者拡大のほか、学童保育施設改修や新生児の聴覚検査、妊産婦健診の費用助成に取り組んでまいりたい。

コロナ禍における観光関連産業への支援

公明党 松宮 健治

質問 観光および観光関連産業への支援について伺いたい。

答弁 飲食店、ホテル・旅館等や観光土産店への事業継続臨時支援金の給付のほか、温泉供給料金の支払猶予の措置を継続するなど、必要な支援を実施してまいりたい。

多頭飼育崩壊の対策について

日本共産党 市戸 ゆたか

質問 保健所と連携し、犬・猫の譲渡活動を行っているボランティア団体への財政的支援を行う考えはないか。

答弁 動物愛護団体とはタウンミーティングで直接話をしたことがあり、大変有意義な活動と感じている。今後もよく話を聞いてまいりたいと考えている。